【耐震診断事業費(経済対策)(繰越) 項目名 繰001 所 属 广舎管理費 ページ 主要な施策 24 総務部総務調整監 財産経営課 年度 H25 事業の概要 【問合せ先】財産政策第一係 0857-20-3851 会計名 -般会計 【9次総の施策体系】0201 款 総務費 【事業の概要】 総務管理費 項 災害に強いまちづくりの推進を図るため、平成23年度8月26日に改定した鳥取市有 **目**財産管理費 【建築物耐震診断計画を基に、平成23~27年度の5年間で市有建築物の耐震診断を実施 する。 (単位:千円) 【予算繰越理由】 国の緊急経済対策に係る補正予算に呼応するため。 前年度最終予算額 46, 779 【事業の成果】 体育館や集会所の避難所指定施設など20施設の耐震診断業務を行った。 本年度繰越予算額 46, 779 実績(過去3年) 本年度決算額 平成23年度実績 11.870千円 (実施施設 27施設) 25, 486 その他財源の内訳 平成24年度実績 84.559千円 (実施施設 48施設) 分担金 平成25年度実績 25.486千円 (実施施設 20施設) 負担金 0 【今後の課題・方向性】 0 使用料 耐震診断計画に基づき、平成27年度完了を目標として年次的に耐震診断を実施する。 区分 決算額 0 手数料 国•県支出金 5.895 財産収入 0 源 地方債 0 0 寄付金 内その他 0 0 繰入金 一般財源 19.591 0 諸収入

計

25, 486

その他

0

**評価** 耐震診断を実施する市有建築物は、耐震診断計画に基づき、平成27年度を目標として年次的に耐震診断を実施する。 **結果** 平成26年度は、26施設の耐震診断を実施予定。

環境大学運営費交付金(繰越) 項目名 繰002 所 属 ページ 主要な施策 公立大学法人運営事業費 25 企画推進部 年度 企画調整課 H25 事業の概要 【問合せ先】戦略行政・大学係 0857-20-3153 会計名 -般会計 【9次総の施策体系】1102 款 総務費 【事業の経過及び背景】 項 総務管理費 鳥取県とともに共同設置した公立大学法人鳥取環境大学の大規模修繕等に係る施設整備 1 企画費 費補助金を交付するものである。 【予算繰越理由】 (単位:千円) 鳥取環境大学の英語村の新施設整備について、上半期の運営状況を見ながら検討し、現 在の場所で増築するのがベストとの結論に至ったが、設計委託業者と具体的な協議を進め 前年度最終予算額 426, 086 たところ、増改築には想定より長い工期が必要で年度内の事業完了が困難なことが判明し たため。 本年度繰越予算額 20.067 【事業の成果】 鳥取環境大学英語村の増改築工事に対する補助を実施した。 本年度決算額 18. 789 その他財源の内訳 【今後の方向性】 分担金 0 公立大学法人鳥取環境大学に対し、大学運営費交付金及び施設整備費補助金を交付す 負担金 0 る。 0 使用料 区分 決算額 0 手数料 国·県支出金 0 0 財産収入 源地方債 0 0

> 評価 結果

寄付金

繰入金

諸収入

その他

0

0

0

0

18, 789

18. 789

内その他

一般財源

計

施設・設備の経年劣化等による故障、修繕が増加しているため、計画的な改修が必要である。

#### ■地区公民館耐震補強事業費(経済対策)(繰越) 項目名 繰003 名 所 属 ページ 主要な施策 地区公民館耐震補強事業費 47 企画推進部 協働推進課 年度 H25 事業の概要 【問合せ先】地区公民館係 0857-20-3172 会計名 -般会計 【9次総の施策体系】2101 款 教育費 【事業の概要】 項 社会教育費 災害時に市民の生命を守ることは行政の責務であり、公共施設の耐震化が急がれること **日** 公民館費 ┃から、旧耐震基準による地区公民館に対する耐震診断調査結果に基づき、計画的に耐震補 強事業を実施する。 (単位:千円) 【予算繰越理由】 国の緊急経済対策に係る補正予算に呼応するため。 前年度最終予算額 44, 106 【事業の成果】 平成25年度は、大和・大茅・社・米里・賀露地区公民館の耐震補強計画策定及び実施 本年度繰越予算額 44. 106 設計を行った。 本年度決算額 【今後の課題・方向性】 22, 607 その他財源の内訳 平成26年度は大和・大茅・社地区公民館の耐震補強工事を行うなど、計画的に地区公 分担金 民館の耐震化を推進する。 負担金 0 0 使用料 区分 決算額 0 手数料 国-県支出金 5. 477 0 財産収入 源地方債 11, 200 寄付金 0 内その他 0 0 繰入金 一般財源 5, 930 0 諸収入 計 22, 607 その他 0

評価 結果

安心して地区公民館を利用していただくため、計画的に地区公民館の耐震化を推進します。

【保育所緊急整備事業費補助金(繰越) 項目名 繰004 所 属 ページ 主要な施策 私立保育園運営施設助成費 31 福祉保健部健康・子育て推進局 児童家庭課 年度 H25 事業の概要 【問合せ先】管理企画係 0857-20-3461 会計名 -般会計 【9次総の施策体系】1101 款 民生費 【事業の概要】 児童福祉費 近年、保育需要の増大とともに保育ニーズの低年齢化が進む中、保育園の収容力不足の **目** 保育所費 【解消、保育環境の充実、幼保連携の推進を図るため対応施設の整備が求められている。 国の子育て支援対策として創設された「安心こども基金」による補助事業により、民間 ■法人が行う保育所整備等に助成を行い、施設定員の増員による待機児童対策と保育環境の 向上に資する。 (単位:千円) 前年度最終予算額 396, 681 【予算繰越理由】 関係者との協議に日数を要したため。 本年度繰越予算額 141.084 【事業の成果】 整備内容:老朽改築による保育所整備(新築) 定員125名(5名増) 本年度決算額 139, 309 賀露みどり保育園(社会福祉法人 にじ色会) その他財源の内訳 総事業費:191,537千円 分担金 助成額:139,309千円(うち基金:90,872千円、市費:48,437千円) 負担金 0 【今後の課題・方向性】 0 使用料 今後も園児の受け入れ体制の整備と待機児童対策として継続して事業を実施する。 区分 決算額 0 手数料 国·県支出金 90.872 0 財産収入 源 地方債 0 0 寄付金 内その他 0 繰入金 一般財源 48. 437 0 諸収入 計 139, 309 その他 0

> 評価 結果

民間法人の保育所施設の整備計画に応じて事業を実施

【保育園耐震改修等事業費(繰越) 項目名 繰005 所 属 保育園施設整備費 ページ 主要な施策 31 福祉保健部健康・子育て推進局 児童家庭課 年度 H25 事業の概要 【問合せ先】管理企画係 0857-20-3461 会計名 -般会計 【9次総の施策体系】1101 款 民生費 【事業の概要】 項 児童福祉費 耐震診断の結果、耐震性の低い保育園の早期に改築を行うことで、安心・安全な保育環 境を整備し、併せて施設収容力を拡大することによる待機児童対策を行う。 **日**保育所費 【予算繰越理由】 (単位:千円) 関係者との協議に日数を要したため。 前年度最終予算額 62, 257 【事業の成果】 用地造成工事の実施 事業費2.442千円 白兎保育園 本年度繰越予算額 8. 156 【今後の課題・方向性】 計画的に耐震改修を進め、利用者の安心安全を確保する。 本年度決算額 2. 442 その他財源の内訳 分担金 負担金 0 0 使用料 区分 決算額 0 手数料 国-県支出金 0 0 財産収入 源地方債 0 0 寄付金 内その他 0 0 繰入金 一般財源 2, 442 0 諸収入 計 2.442 その他 0

> 評価 結果

計画的に耐震改修を進め、利用者の安心安全を確保する。

項 目 名 佐治地域保育園施設整備費(繰越) 繰006 所 属 保育園施設整備費 ページ 主要な施策 31 福祉保健部健康・子育て推進局 児童家庭課 年度 H25 事業の概要 【問合せ先】管理企画係 0857-20-3461 会計名 -般会計 【9次総の施策体系】1101 款 民生費 【事業の概要】 項 児童福祉費 佐治地域で運営しているひまわり保育園・ふたば保育園の2園を統合し、佐治中学校跡 地に新園舎を建設することで、保育環境の向上とサービスの充実を図る。 **日**保育所費 【予算繰越理由】 (単位:千円) 関係者との協議に日数を要したため。 前年度最終予算額 0 【事業の成果】 〇さじ保育園 基本及び実施設計業務の実施 受入定員60名 平成24年度 4,935千円 本年度繰越予算額 8.775 平成25年度 5.974千円 〇木造平屋建て 施設面積 662.83㎡ 本年度決算額 5.974 その他財源の内訳 分担金 【今後の課題・方向性】 平成25年度さじ保育園完成により事業終了。 負担金 0 0 使用料 区分 決算額 0 手数料 国-県支出金 財産収入 0 源地方債 5, 900 寄付金 0 内その他 0 0 繰入金 一般財源 74 0 諸収入 5. 974 計 その他 0

> 評価 結果

さじ保育園完成により事業終了。

【保育園耐震改修等事業費(経済対策)(繰越) 項目名 繰007 所 属 ページ 主要な施策 保育園施設整備費 31 福祉保健部健康・子育て推進局 児童家庭課 年度 H25 事業の概要 【問合せ先】管理企画係 0857-20-3461 会計名 -般会計 【9次総の施策体系】1101 款 民生費 【事業の概要】 **項** 児童福祉費 公共施設の耐震診断を行った結果、白兎保育園及び美和保育園は耐震性が低く早期改築 **目** 保育所費 ┃が求められている。白兎・美和保育園の建設費は、国の経済対策補助金(住宅・建築物安 全ストック形成事業補助金)の対象となるため、25年度実施予定だった事業を前倒して 実施するものである。また改築に併せて収容力の拡大を図り、保育需要に応えるとともに 環境の充実に資する。 (単位:千円) 前年度最終予算額 0 【予算繰越理由】 国の緊急経済対策に係る補正予算に呼応するため。 本年度繰越予算額 720. 193 【事業の成果】 整備内容:改築(新築) 白兎保育園 鉄筋コンクリート造2階建 延床面積1010.84㎡ 定員120名 (30名増) 本年度決算額 664, 265 その他財源の内訳 美和保育園(1期)木造一部2階建 延床面積 824.00㎡ 定員100名(20名増) 0 分担金 0 負担金 【今後の課題・方向性】 引続き白兎保育園の解体外構工事の実施、美和保育園2期工事を実施する。 使用料 区分 決算額 0 手数料 国·県支出金 0 28. 878 財産収入 源 地方債 622, 600 寄付金 0 内その他 0 0 繰入金 一般財源 12, 787 0 諸収入 計 664, 265 その他 0

> 評価 結果

計画的に耐震改修を進め、利用者の安心安全を確保する。

┃中心市街地活性化推進事業補助金(繰越) 項目名 繰008 所 属 名 ページ 主要な施策 中心市街地活性化推進事業費 39 経済観光部 年度 経済•雇用戦略課 H25 事業の概要 【問合せ先】商業振興係 0857-20-3222 会計名 -般会計 【9次総の施策体系】4203・5103 款 商工費 【事業の概要】 項商工費 認定中心市街地活性化基本計画等に基づく事業に係る実施設計、および実施を支援する ことにより、中心市街地の賑わい創出、商業振興を図る。 **目** 商工業振興費 1. 中心市街地活性化推進事業 事業実施のための調査、実施設計、事業計画(基本調査)策定等に要する経費の一部 (単位:千円) を補助する。 2. 中心市街地商業活性化支援事業 前年度最終予算額 21, 444 国や県の補助金を活用することにより、認定中心市街地活性化基本計画等に基づく事 業を実施する場合の経費の一部を補助する。 本年度繰越予算額 19.444 【予算繰越理由】 国の補助金の追加配分の決定に呼応するため。

**本年度決算額** 19,177

			負担金	
			使用料	
区分		決算額	手数料	
財源.	国•県支出金	9, 588	財産収入	
	地方債	0	寄付金	
	その他	0	繰入金	
	一般財源	9, 589	諸収入	
<del>計</del>		19, 177	その他	

## 【事業の成果】

その他財源の内訳

0 0

分担金

・駅前サンロードアーケード改修事業(実施主体:新鳥取駅前地区商店街振興組合)の実施に対する支援を行った。

#### 【今後の課題・方向性】

より事業効果を高めるため、必要に応じて制度の見直しを行っていく。

評価 引き続き、意欲ある商業者等に対する支援を行っていくことにより、中心市街地での商業活性化事業の推進による賑わい創出、 結果 商業振興を図る。 
 繰009
 項目名
 公設地方卸売市場事業費特別会計へ繰出(経済対策)(繰越)

 主要な施策
 公設地方卸売市場事業費特別会計へ繰出
 ページ
 39
 所属
 経済観光部

**年度** H25

会計名

-般会計

款 商工費

項 他会計繰出

公設地方卸売市場事業費特別会計へ繰出

(単位:千円)

前年度最終予算額 45,084

**本年度繰越予算額** 44, 788

**本年度決算額** 34,710

	区分	決算額
財	国·県支出金	16, 444
源	地方債	0
内	その他	0
汃	一般財源	18, 266
	計	34, 710

その他財源の内訳		
分担金	0	
負担金	0	
使用料	0	
手数料	0	
財産収入	0	
寄付金	0	
繰入金	0	
諸収入	0	
その他	0	

# 事業の概要

【問合せ先】商業振興係 0857-20-3222

【9次総の施策体系】5102

#### 【事業の概要】

公設地方卸売市場の使命である"市民生活の安定に資する安全・安心かつ適正価格の食を提供するため、老朽化した市場施設について、平成27年度に予定されている耐震診断を踏まえたうえで現位置において今後も営業を行っていくにあたり必要な改修等を計画的に実施する。

名

経済•雇用戦略課

#### 【予算繰越理由】

国の緊急経済対策に係る補正予算に呼応するため。

#### 【事業の成果】

青果棟及び鮮魚棟の封じ込め処理してある石綿の除去を行った。

## 【今後の課題・方向性】

H26年度に、腐食が進んでいる青果棟及び鮮魚棟の屋根改修を行う。

評価 結果

次度予定されている耐震診断の結果も踏まえ、引き続き必要に応じ修繕等を行い、市場の活性化を図り市民生活の安定に資する。

項 目 名 工業団地分譲推進事業費(繰越) 繰010 所属名 企業誘致促進事業費 ページ 主要な施策 39 経済観光部 企業立地•支援課 年度 H25 事業の概要 【問合せ先】工業団地整備係 0857-20-3225 会計名 -般会計 【9次総の施策体系】5102 款 商工費 【予算計上の経過】 項商工費 当初予算·P133(経048)、12月補正予算·P28(経008) **目** 商工業振興費 【事業の概要】 分譲可能な工業用地不足を解消し企業誘致を戦略的に行うため、新たな工業用 (単位:千円) 地を整備する。 前年度最終予算額 190, 883 【予算繰越理由】 地元住民から営業に影響がでると上水道工事について了解が得られず、ルート変更等の 設計に不測の日数を要した。 本年度繰越予算額 20.627

区分	決算額
<sub>b</sub> 国·県支出金	0
源地方債	10, 300
内その他	0
一般財源	10, 327
計	20, 627

その他財源の内訳		
分担金	0	
負担金	0	
使用料	0	
手数料	0	
財産収入	0	
寄付金	0	
繰入金	0	
諸収入	0	
その他	0	

# 【今後の課題・方向性】

上水道工事 L=682m

【事業の成果】

企業訪問を通じて、本市工業団地への企業進出の働きかけを強化する。 また、河原インター山手工業団地の関連公共施設の整備を促進し、団地造成工事に着手する。

経済情勢が好転しつつある中、新たな設備投資や、BCPによるリスク分散の検討を行う企業もあり、大震災発生の可能性が極めて低い本市にとっては企業誘致の絶好の好機であり、誘致活動の積極的な取組が求められている。本市の分譲可能な工業用地は不足をきたしている。そこで、企業誘致を戦略的に行うため、その受け皿となる新たな工業団地を整備する。

■砂像製作事業費(繰越) 項目名 繰011 所 属 ページ 主要な施策 観光活動費 39 経済観光部 年度 鳥取砂丘・ジオパーク推進課 H25 事業の概要 【問合せ先】鳥取砂丘・ジオパーク推進課 0857-20-3036 会計名 -般会計 【9次総の施策体系】5201 款 商工費 【事業の概要】 項商工費 砂の美術館第6期展示開催に係り、海外9カ国より17名の砂像彫刻家を招聘し、総合プ 目 観光費 |ロデューサーの監修・ディレクティングのもと、展示テーマである「砂で世界旅行・東南 アジア編~王朝の栄華とよみがえる神秘の国々~」に合わせた砂像の制作を実施。 (単位:千円) 【予算繰越理由】 第6期展示の作品制作に当たり、海外砂像彫刻家等の日程調整上、年度内での業務完了 前年度最終予算額 119, 065 が闲難となったため。 【事業の成果】 本年度繰越予算額 12.800 第6期展示ではアンコールワットなど東南アジアの代表する象徴的な作品を全19作品、 制作・展示し、来場者数は過去最高となる555.355人となり、目標の55万人を達成。 (開催期間: 2013.4.20~2014.1.5 261日) 本年度決算額 12.800 また3Dプロジェクションマッピングなど集客イベントも積極的に開催し、通算来場者 |数は200万人を超え、名実ともに砂の美術館を全世界へ発信することができた。

区分	決算額
」 国·県支出金	0
源地方債	0
内その他	0
一般財源	12, 800
計	12, 800

その他財源の内訳		
分担金	0	
負担金	0	
使用料	0	
手数料	0	
財産収入	0	
寄付金	0	
繰入金	0	
諸収入	0	
その他	0	

# 【今後の課題・方向性】

砂像の展示や集客イベント、満足度向上に向けた各種環境整備等の実施を通じて県外客の滞在型観光の促進による地域経済の活性化や市民の更なる来場促進を図る。

世界初の砂像展示専門の美術館という唯一無二の特性を最大限に活かし、世界トップレベルの砂像彫刻家により制作される"砂像"の魅力を最大限に発信し、「砂像のまち鳥取市」の積極的な推進を図る。 また、利用料金制への移行など外部委託等も検討し、より効率的かつ積極的な事業の遂行を考えていく必要がある。

■湖山池汽水湖化に伴う施設等整備事業費(繰越) 繰012 項目名 所 属 ページ 主要な施策 湖山池汽水湖化に伴う施設等整備事業費 37 農林水産部 農業振興課 年度 H25 事業の概要 【問合せ先】農政係 0857-20-3202 会計名 -般会計 【9次総の施策体系】5101 款 農林水産業費 【事業の概要】 項農業費 湖山池の水質浄化のため、東郷湖程度の塩分濃度の汽水湖とするよう平成24年3月1 2日から塩分導入が行われ、塩分濃度の上昇で湖山池の水が利用できなくなり、福井地区 **目** 農業構造改善事業費 のハス池のかさ上げと井戸の新設、鳥大付属農場の用水確保のための貯水池整備、代替水 田の暗渠排水施設整備を行った。 (単位:千円) 【予算繰越理由】 前年度最終予算額 21, 002 県の工事の遅延のため。 本年度繰越予算額 【事業の成果】 1.484 福井地区のハス池のかさ上げと井戸の新設(平成24年度実施) 代替水田の暗渠排水施設整備(平成24年度実施) 本年度決算額 1. 482 鳥大付属農場の用水確保のための貯水池整備(平成25年度実施) その他財源の内訳 分担金 【今後の課題・方向性】 平成25年度で事業完了。 負担金 0 0 使用料 区分 決算額 0 手数料 国·県支出金 0 0 財産収入 源地方債 0 0 寄付金 内その他 0 0 繰入金 1, 482 一般財源 0 諸収入 計 その他 1.482 0

> 評価 結果

平成25年度事業完了。

項 目 名 市行造林維持管理費(繰越) 繰013 所 属 市行造林維持管理費 ページ 主要な施策 37 農林水産部 林務水産課 年度 H25 事業の概要 【問合せ先】林務係 0857-20-3235 会計名 一般会計 【9次総の施策体系】5101 款 農林水産業費 【事業の概要】 項 林産業費 森林経営計画に基づき、市行造林、市有林の保育、間伐材生産等の適正な森林整備を目 **目** 林業総務費 的とする。 【予算繰越理由】 (単位:千円) 関係機関との協議に日数を要したため。 前年度最終予算額 6.092 【事業の成果】 委託料 青谷(作業道 783m) 955千円 本年度繰越予算額 1.598 【今後の課題・方向性】 新たな森林経営計画に基づき、間伐等を実施。 本年度決算額 955 その他財源の内訳 分担金 0 負担金 0 使用料 0 区分 決算額 0 手数料 国-県支出金 811 財産収入 0 源地方債 0 寄付金 0 内その他 0 0 繰入金 一般財源 144 諸収入 0 955 計 その他 0

> 評価 結果

鳥取県の造林補助金及び間伐材販売の利益により、一般財源の縮減を図る。

項 目 名 林道改良事業費(繰越) 繰O14 所 属 既設林道維持管理事業費 ページ 主要な施策 38 農林水産部 林務水産課 年度 H25 事業の概要 【問合せ先】林務係 0857-20-3235 会計名 一般会計 【9次総の施策体系】5101 款 農林水産業費 【事業の概要】 項 林産業費 林道の改良・舗装を行い、林道を安全に通行できるようにする。 **目** 林業振興費 未改良区間の拡幅を行う。 【予算繰越理由】 (単位:千円) 関係者との協議に日数を要したため。 前年度最終予算額 23, 000 【事業の成果】 林道高路岩坪線改良事業 本年度繰越予算額 工事費 10.496千円(L=100m) 15. 530 【今後の課題・方向性】 本年度決算額 10.496 年次的に舗装、改良を行うとともに適正な維持管理に努める。 その他財源の内訳 分担金 負担金 0 0 使用料 区分 決算額 0 手数料 財国・県支出金 5.773 財産収入 0 源 地方債 4,600 寄付金 0 内その他 0 0 繰入金 一般財源 123 諸収入 0 計 10.496 その他 0

> 評価 結果

林道を安全に通行し、維持管理を容易にできるようにするため、継続して実施する。

【林道点検診断事業費(経済対策)(繰越) 項目名 繰015 所 属 既設林道維持管理事業費 ページ 主要な施策 38 農林水産部 林務水産課 年度 H25 事業の概要 【問合せ先】林務係 0857-20-3235 会計名 -般会計 【9次総の施策体系】5101 款 農林水産業費 【事業の概要】 項 林産業費 平成24年トンネル崩落事故があり、道路のみならずその付帯施設の安全性の確認が求 められている。平成24年国の緊急経済対策に伴い林道点検診断事業が創設されたことに **目** 林業振興費 より本市でも点検及び改修を実施し、安全で快適な林道整備事業を行う。 (単位:千円) 【予算繰越理由】 国の緊急経済対策に係る補正予算に呼応するため及び関係者との協議に日数を要したた 前年度最終予算額 900 め。 【事業の成果】 本年度繰越予算額 900 橋梁点検によって確認された事項を補修及び補強することにより、林道施設の長寿命化 及びランニングコストの低減を図る。 林道橋の目視点検 13橋(橋長 15m以上) 本年度決算額 714 その他財源の内訳 負担区分 国(50%) 0 分担金 【今後の課題・方向性】 0 負担金 平成25年度事業完了。 0 使用料 区分 決算額 0 手数料 国·県支出金 財産収入 357 0 源地方債 0 寄付金 0 内その他 0 0 繰入金 一般財源 357 0 諸収入 計 その他 714 0

評価

結果

平成25年度完了。

項 目 名 林道改良事業費(経済対策)(繰越) 繰016 所 属 既設林道維持管理事業費 ページ 主要な施策 38 農林水産部 林務水産課 年度 H25 事業の概要 【問合せ先】林務係 0857-20-3235 会計名 -般会計 【9次総の施策体系】5101 款 農林水産業費 【事業の概要】 項 林産業費 林道佐谷小畑線は鹿野地域と青谷地域を結ぶ重要な林道である。林道巡視によって法面 の崩壊が確認された箇所があり、平成24年国の緊急経済対策により林道法面改良工事を **目** 林業振興費 実施する。 (単位:千円) 【予算繰越理由】 国の緊急経済対策に係る補正予算に呼応するため。 前年度最終予算額 15, 000 【事業の成果】 本事業で林道法面の改良を行い、安全で快適に通行出来るようにする。また、崩壊土砂 本年度繰越予算額 15.000 の撤去により大型車の通行が可能となり、市行造林等の施業推進も期待できる。 事業名:林道佐谷小畑線法面改良事業 本年度決算額 事業量:延長16.0m 吹付枠工 346m<sup>2</sup> 12.905 その他財源の内訳 事業費:12.905千円(工事請負費) 分担金 負担区分:国(50%) 県(5%) 負担金 0 【今後の課題・方向性】 0 使用料 平成25年度事業完了。 区分 決算額 0 手数料 国-県支出金 7.097 0 財産収入 源 地方債 5.800 寄付金 0 内その他 0 0 繰入金 一般財源 0 諸収入 12.905

> 評価 結果

その他

計

平成25年度完了。

0

┃ 竹林整備事業費(繰越) 繰O17 項目名 所 属 造林事業費 ページ 主要な施策 38 農林水産部 林務水産課 年度 H25 事業の概要 【問合せ先】林務係 0857-20-3235 会計名 -般会計 【9次総の施策体系】5101 款 農林水産業費 【事業の概要】 項 林産業費 拡大する竹対策として、鳥取県森林環境保全税を財源に竹林の抜き伐り等を実施し、竹 **目** 林業振興費 林整備に取り組む。 【予算繰越理由】 (単位:千円) 関係機関との協議に日数を要したため。 前年度最終予算額 18. 244 【事業の成果】 負担区分 森林環境保全税関連事業 補助率 県 85% 本年度繰越予算額 6.594 市 5%(※予算の範囲内で抜き伐りのみ対象) 事業内容 本年度決算額 抜き伐り 6, 594千円 2, 15ha 県6, 228千円 市366千円 6. 594 その他財源の内訳 分担金 【今後の課題・方向性】 継続して実施する。 負担金 0 0 使用料 区分 決算額 0 手数料 国•県支出金 6. 228 財産収入 0 源地方債 0 寄付金 0 内その他 0 0 繰入金 一般財源 366 諸収入 0 計 6.594 その他 0

> 評価 結果

竹林の適正な管理のため、継続して支援が必要。

■単県斜面崩壊復旧事業費(繰越) 項目名 繰018 所 属 ページ 主要な施策 治山事業費 38 農林水産部 林務水産課 年度 H25 事業の概要 【問合せ先】林務係 0857-20-3235 会計名 -般会計 【9次総の施策体系】5101 款 農林水産業費 【事業の概要】 項 林産業費 国庫補助事業(治山事業及び急傾斜地崩壊対策事業)及び単県急傾斜地崩壊対策事業の |対象とならない荒廃林地及び急傾斜地において復旧事業を行い公共施設、人家等を保全す **目** 林業振興費 るもの。 (単位:千円) 【予算繰越理由】 関係者との協議に日数を要したため。 前年度最終予算額 24, 163 【事業の成果】 大雨等により崩落した山腹を復旧し、家屋等への被害を防止する。 本年度繰越予算額 6.000 斜面崩壊復旧工事 洞谷 (植生基材吹付A=173㎡) 2,688千円 本年度決算額 4.541 大畑 (植生基材吹付A=188㎡) 1,853千円 その他財源の内訳 計 4. 541千円 分担金 【今後の課題・方向性】 負担金 600 被災箇所を確認し、必要があれば緊急度に応じて復旧を行う。 0 使用料 区分 決算額 0 手数料 国-県支出金 財産収入 2. 270 0 源地方債 0 寄付金 0 内その他 600 0 繰入金 一般財源 1,671 0 諸収入 計 4. 541 その他 0

> 評価 結果

継続して実施。

項 目 名 県営林道整備事業費(繰越) 繰019 所 属 ページ 主要な施策 県営林道整備事業費 38 農林水産部 林務水産課 年度 H25 事業の概要 【問合せ先】林務係 0857-20-3235 会計名 一般会計 【9次総の施策体系】5101 款 農林水産業費 【事業の概要】 **項** 林産業費 県営事業での林道開設事業実施に伴う、事業費の負担。 **目** 林業振興費 【予算繰越理由】 県営事業が遅延したため。 (単位:千円) 【事業の成果】 前年度最終予算額 4, 095 林道桑原河内線 施工延長L=220m 法面工 本年度繰越予算額 2, 447 【今後の課題・方向性】 継続して実施する。 本年度決算額 2. 447 その他財源の内訳 分担金 負担金 0 使用料 0 区分 決算額 0 手数料 財国・県支出金 財産収入 0 源地方債 2, 400 寄付金 0 内その他 0 繰入金 0 一般財源 47 諸収入 0 計 2.447 その他 0

平成26年度行政評価、対象外。

結果

#### ■森林整備加速化·林業再生事業費補助金(繰越) 繰020 項目名 所 属 森林整備加速化•林業再生事業費 ページ 主要な施策 38 農林水産部 林務水産課 年度 H25 事業の概要 【問合せ先】林務係 0857-20-3235 会計名 -般会計 【9次総の施策体系】5101 **款** 農林水産業費 【事業の概要】 項 林産業費 東日本大震災の被災地へ県産材を供給することを目的とし、早期復興を図る。 **目** 林業振興費 【予算繰越理由】 関係機関との協議に日数を要したため。 (単位:千円) 【事業の成果】 前年度最終予算額 85. 074 〇間伐 112.19ha 67, 533千円 補助金 本年度繰越予算額 〇森林境界の明確化 92.03ha 75. 129 4, 141千円 補助金 本年度決算額 71.674 その他財源の内訳 【今後の課題・方向性】 平成26年度事業完了。 分担金 0 負担金 0 0 使用料 区分 決算額 0 手数料 国•県支出金 71.674 財産収入 0 源 地方債 0 0 寄付金 内その他 0 0 繰入金 一般財源 0 諸収入 0 計 71.674 その他 0

評価 結果

平成25年度事業終了。(森林境界の明確化事業については平成26年度で終了)

#### ■漁港施設機能強化事業費(経済対策)(繰越) 項目名 繰021 所 属 ページ 主要な施策 漁港建設事業費 38 農林水産部 林務水産課 年度 H25 事業の概要 【問合せ先】水産漁港係 0857-20-3236 会計名 -般会計 【9次総の施策体系】5101 **款** 農林水産業費 【事業の概要】 項 水産業費 大型台風等による高潮や波高の増大に対処するため、国の緊急経済対策を活用して、サ ンドポケットや航路・泊地の浚渫を実施し、漁港の機能強化を図る。 **目** 水産業振興費 【予算繰越理由】 (単位:千円) 国の緊急経済対策に係る補正予算に呼応するため。 前年度最終予算額 100.000 【事業の成果】 酒津漁港・船磯漁港・長和瀬漁港において、サンドポケットを設置するとともに、航 ■路・泊地の浚渫を実施して漁港の機能強化を図り、漁船が安全に航行できる環境を整え 本年度繰越予算額 100.000 た。 本年度決算額 【今後の課題、方向性】 98. 384 その他財源の内訳 深浅測量データをもとにサンドポケットの効果を見極めながら漁港の機能強化を図る。 分担金 0 負担金 0 0 使用料 区分 決算額 0 手数料 国·県支出金 49. 192 0 財産収入 源地方債 49, 100 寄付金 0 内その他 0 0 繰入金 一般財源 0 諸収入 計 98. 384 その他 0

評価 結果

平成25年度事業完了。

項 目 名 補助災害復旧費(繰越) 繰022 所 属 ページ 主要な施策 現年発生災害復旧費 49 農林水産部 林務水産課 年度 H25 事業の概要 【問合せ先】林務係 0857-20-3235 会計名 一般会計 【9次総の施策体系】5101 款 災害復旧費 【事業の概要】 項 災害復旧費 台風4号及び9月豪雨により、林道法面等が崩壊する被害が発生し、災害復旧工事等を **目** 農林水産業施設災害復旧費 実施する。 【予算繰越理由】 (単位:千円) 工事施工方法の検討に日数を要したため。 前年度最終予算額 16. 471 【事業の成果】 補助災害復旧工事(3路線、3筒所) 本年度繰越予算額 工事費 10.164千円(八頭中央線・東井谷線・烏山線) 12.500 【今後の課題・方向性】 本年度決算額 10. 164 平成25年度事業完了。 その他財源の内訳 分担金 負担金 0 使用料 0 区分 決算額 0 手数料 財国・県支出金 9.014 0 財産収入 源地方債 1,000 寄付金 0 内その他 0 0 繰入金 一般財源 150 諸収入 0

> 評価 結果

その他

10.164

計

平成25年度完了。

0

□岩美地区広域農道整備事業費(繰越) 項目名 繰023 所 属 県営事業負担金 ページ 主要な施策 36 農林水産部 農村整備課 年度 H25 事業の概要 【問合せ先】基盤整備係 0857-20-3244 会計名 -般会計 【9次総の施策体系】5101 款 農林水産業費 【事業の概要】 項農業費 鳥取地区広域営農団地の東部に位置する各生産団地及び各農業施設を結ぶ基幹農道を整 **目** 農地費 |備し、鳥取地区広域農道と接続させ、効率的、有機的な営農団地を確立し、農業の近代化 生産流通施設の整備及び管理組織体系の整備を併せ行い、地域産業の開発を促進する。 県営岩美地区道整備交付金事業 (県営岩美地区広域営農団地農道整備事業) (単位:千円) ・事業主体 鳥取県 昭和57年度~平成26年度 • 事業年度 前年度最終予算額 11, 779 807,200,000円(第二期事業費) ・事業費 国 6 1. 0% 県 3 2. 3% 市 6. 7% (起債充当率 9 5%) ・負担区分 事業内容 農道整備 855m 本年度繰越予算額 1.005 【予算繰越理由】 本年度決算額 県営事業の遅延のため。 1.005 その他財源の内訳 分担金 【事業の成果】 負担金 0 事業費 1.005千円 (市負担) • 事業場所 福部町久志羅地内 0 使用料 • 事業内容 道路工L=140 m 区分 決算額 0 手数料 【今後の課題・方向性】 国•県支出金 0 0 財産収入 県事業計画に基づき平成26年度に県営事業完了予定。 源 地方債 900 寄付金 0 内その他 0 0 繰入金 一般財源 105 0 諸収入 計 1.005 その他 0

> 評価 結果

平成26年度事業完了による農道の整備による農業生産基盤の拡充をめざす。

#### 【大井手地区集落基盤整備事業費(用水再編型)(繰越) 項目名 繰024 所 属 主要な施策 ページ 県営事業負担金 36 農林水産部 年度 農村整備課 H25 事業の概要 【問合せ先】基盤整備係 0857-20-3244 会計名 【9次総の施策体系】5101 -般会計 【事業の概要】 現在、大井手用水を活用して古海揚水機場より湖山砂丘畑へ送水しているが、送水施設 款 農林水産業費 (ポンプ) が老朽化し更新する必要が生じている。また、大井手下流域の用水量を効率化 項 農業費 し送水する必要があるため、必要な取水ゲート等 を整備する必要が生じている。 ポンプ、樋門、水路等の改修・整備を行い、無駄のない 農地費 効率的な水利用をすることで必要用水量を確保し、用水確保に苦慮している農家の営農活 動安定化を図る。 県営集落基盤整備事業(用水再編型)大井手地区 (単位:千円) • 事業主体 鳥取県 前年度最終予算額 16.800 ・事業年度 平成23年度~平成27年度 - 事 業 費 480.000.000円 負担区分 国50% 県30% 市15% 地元5% 本年度繰越予算額 16.800 ・事業内容 ①湖山砂丘畑送水対策(徳吉ポンプ場取水槽、池口揚水機場ポンプ、 調整水槽、送水管等整備) 本年度決算額 ②大井手下流域番水解消対策(転倒堰、スライドゲート、送水管、 16. 347 その他財源の内訳 水路等整備) 分担金 · 受益百積 220. 1 ha 負担金 0 【予算繰越理由】 県営事業の遅延のため。 0 使用料 【事業の成果】 区分 決算額 事 業 費 16,347千円(市負担) 手数料 事業内容 分水樋門設置 5 箇所 水路整備 6 箇所 国•県支出金 財産収入 0 【今後の課題・方向性】 源 地方債 14, 700 0 寄付金 県計画に沿って平成27年度の整備完了を目指す。 内その他 0 0 繰入金 一般財源 0 1.647 諸収入 計 16. 347 その他 0

評価 結果

県計画に基づき平成27年度まで実施。大井手用水の効率的利用のための整備を継続。

項 目 名 山上・水根地区地域ため池総合整備事業費(繰越) 繰025 所 属 県営事業負担金 ページ 主要な施策 36 農林水産部 農村整備課 年度 H25 事業の概要 【問合せ先】基盤整備係 0857-20-3244 会計名 -般会計 【9次総の施策体系】5101 款 農林水産業費 【事業の概要】 項農業費 山上・水根地区地域ため池総合整備事業 **目** 農地費 • 実施主体 鳥取県 事業年度 平成24年度~平成28年度 河原町山上地区:馬場堤 事業箇所 (単位:千円) 河原町水根地区: 湯坂谷池 総事業費 143.000.000円 前年度最終予算額 2.960 国55% 県29% 市14%(起債充当率90%)地元2% • 負担区分 ため池改修2箇所 事業内容 74戸(馬場堤:73戸、湯坂谷池31戸) • 受益戸数 本年度繰越予算額 688 16ha (馬場堤: 15ha、湯坂谷池: 7ha) • 受益面積 本年度決算額 【予算繰越理由】 688 その他財源の内訳 県営事業の遅延のため。 分担金 0 負担金 86 【事業の成果】 ・事業費 688千円(市負担) 0 使用料 馬場堤ため池改修1箇所(工事用道路布設) 事業内容 区分 決算額 0 手数料 用地買収補償等 国·県支出金 0 財産収入 0 【今後の課題・方向性】 源 地方債 500 寄付金 継続してため池改修を行い、防災安全度を向上させる。 内その他 86 0 繰入金 一般財源 102 0 諸収入 計 688 その他 0

評価 結果

県計画に沿って平成28年度まで、ため池の継続整備が必要とされる。

【鹿野・今市地区地域ため池総合整備事業費(繰越) 項目名 繰026 所 属 県営事業負担金 ページ 主要な施策 36 農林水産部 農村整備課 年度 H25 事業の概要 【問合せ先】基盤整備係 0857-20-3244 会計名 -般会計 【9次総の施策体系】5101 款 農林水産業費 【事業の概要】 項農業費 鹿野・今市地区地域ため池総合整備事業費 **目** 農地費 • 実施主体 鳥取県 事業年度 平成24~27年度 鹿野町鹿野地区:糸録池 • 事業簡所 (単位:千円) 鹿野町今市地区:馬ノ池 • 事 業 費 162,000千円 前年度最終予算額 1.984 国55% 県29% 市14% 地元2% • 負担区分 ため池改修2箇所(糸録池・馬ノ池) ・事業内容 • 受 益 本年度繰越予算額 89 戸数:82戸(糸録池33戸、馬ノ池49戸) 面積:40ha(糸録池17ha、馬ノ池23ha) 本年度決算額 【予算繰越理由】 87 その他財源の内訳 県営事業の遅延のため。 分担金 0 負担金 11 【事業の成果】 ・事業費 87千円(市負担) 0 使用料 事業内容 用地買収補償等 区分 決算額 0 手数料 【今後の課題・方向性】 国·県支出金 0 0 財産収入 継続してため池改修を行い、防災安全度を向上させる。 源地方債 0 0 寄付金 内その他 11 0 繰入金 一般財源 76 0 諸収入 計 その他 0

評価 結果

県計画に沿って平成27年度まで、ため池の継続整備が必要とされる。

#### 【福部地区特定農業用管水路等特別対策事業費(繰越) 項目名 繰027 名 所 属 主要な施策 ページ 県営事業負担金 36 農林水産部 年度 農村整備課 H25 事業の概要 【問合せ先】基盤整備係 0857-20-3244 会計名 -般会計 【9次総の施策体系】5101 款 農林水産業費 【事業の概要】 項 農業費 福部砂丘の畑地かんがい施設のうち、用水を配水する幹線配水管路、支線配水管路は主 農地費 【に石綿管が使用され、非飛散性かつ土中埋設で、一見、安定した状況にはあるものの、近 年の老朽化により、漏水対応における補修時及び更新の際などでは石綿粉じんが飛散する 危険性がある。福部砂丘の畑地かんがい施設のうち、主に石綿利用され、また、近年、老 朽化が顕著な管水路を全体的に変更・更新することで、石綿に起因する健康被害等への影 (単位:千円) 響を未然に防止し、かつ、安定的な用水確保を実現し、地域の特産品である「らっきょう 前年度最終予算額 6.750 」を主とした農業経営の安定及び農業の維持を図る。 • 事業主体 鳥取県 事業年度 平成24~29年度 550.000千円 本年度繰越予算額 2. 437 ・事業費 負担区分 国 55% 県34% 市9%(起債充当率90%) 地元2% ·事業内容 石綿管更新 L=7.504m 本年度決算額 益 戸数:286戸 面積:88ha 2.436 その他財源の内訳 分担金 【予算繰越理由】 負担金 0 県営事業の遅延のため。 0 使用料 【事業の成果】 区分 決算額 0 2. 436千円(市負担) 手数料 • 事業費 事業内容 管路整備 L=481m 測量設計1式 他 国•県支出金 0 財産収入 源 地方債 2, 100 0 寄付金 【今後の課題・方向性】 内その他 県計画に基づき平成29年度まで継続して管路整備を行う。 0 0 繰入金 一般財源 336 0 諸収入 2.436 計 その他 0

評価 結果

県計画に基づき平成29年度まで実施。石綿管の早期取替により住民の健康被害を防止する。

■岩美地区広域農道整備事業費(経済対策)(繰越) 項目名 繰028 所 属 県営事業負担金 主要な施策 ページ 36 農林水産部 農村整備課 年度 H25 事業の概要 【問合せ先】基盤整備係 0857-20-3244 会計名 -般会計 【9次総の施策体系】5101 款 農林水産業費 【事業の概要】 項農業費 鳥取地区広域営農団地の東部に位置する各生産団地及び各農業施設を結ぶ基幹農道を整 **目** 農地費 |備し、鳥取地区広域農道と接続させ、効率的、有機的な営農団地を確立し、農業の近代化 生産流通施設の整備及び管理組織体系の整備を併せ行い、地域産業の開発を促進する。 県営岩美地区道整備交付金事業 (県営岩美地区広域営農団地農道整備事業) (単位:千円) 鳥取県 ・事業主体 昭和57年度~平成26年度 • 事業年度 前年度最終予算額 7.370 807,200,000円(第二期事業費) ・事業費 国 6 1. 0% 県 3 2. 3% 市 6. 7% (起債充当率 9 5%) ・負担区分 事業内容 農道整備 855m 本年度繰越予算額 7.370 【予算繰越理由】 本年度決算額 県営事業の遅延のため。 7.370 その他財源の内訳 分担金 【事業の成果】 · 事 業 費 7, 370千円 (市負担) 負担金 0 • 事業場所 福部町久志羅地内 0 使用料 • 事業内容 道路工L=140 m 区分 決算額 0 手数料 【今後の課題・方向性】 国•県支出金 0 財産収入 県事業計画に基づき平成26年度に県営事業完了予定。 源 地方債 7, 300 寄付金 0 内その他 0 0 繰入金 一般財源 70 0 諸収入 計 7.370 その他 0

> 評価 結果

県計画に基づき平成29年度まで実施。石綿管の早期取替により住民の健康被害を防止する。

#### 【大井手地区集落基盤整備事業費(経済対策)(繰越) 項目名 繰029 所 属 名 主要な施策 ページ 県営事業負担金 36 農林水産部 年度 農村整備課 H25 事業の概要 【問合せ先】基盤整備係 0857-20-3244 会計名 【9次総の施策体系】5101 -般会計 【事業の概要】 現在、大井手用水を活用して古海揚水機場より湖山砂丘畑へ送水しているが、送水施設 款 農林水産業費 (ポンプ) が老朽化し更新する必要が生じている。また、大井手下流域の用水量を効率化 項 農業費 し送水する必要があるため、必要な取水ゲート等を整備する必要が生じている。 農地費 ポンプ、樋門、水路等の改修・整備を行い、無駄のない効率的な水利用をすることで必 要用水量を確保し、用水確保に苦慮している農家の営農活動安定化を図る。 県営集落基盤整備事業 (用水再編型) 大井手地区 • 事業主体 鳥取県 (単位:千円) · 事業年度 平成23年度~平成27年度 前年度最終予算額 1.800 · 事 業 費 480,000,000円 ·負担区分 国50% 県30% 市15% 地元5% ・事業内容 ①湖山砂丘畑送水対策(徳吉ポンプ場取水槽、池口揚水機場ポンプ、 本年度繰越予算額 1.800 調整水槽、送水管等整備) ②大井手下流域番水解消対策(転倒堰、スライドゲート、送水管、 本年度決算額 水路等整備) その他財源の内訳 1.800 · 受益戸数 845戸 受益面積 220.1ha 分担金 【予算繰越理由】 負担金 0 県営事業の遅延のため。 【事業の成果】 0 使用料 · 事 業 費 1, 800千円(市負担) 区分 決算額 ·事業内容 分水樋門設置5箇所 水路整備5箇所 手数料 【今後の課題・方向性】 国•県支出金 0 財産収入 県計画に沿って平成27年度の整備完了を目指す。 源 地方債 1.800 0 寄付金 内その他 0 0 繰入金 一般財源 0 0 諸収入 計 1.800 その他 0

評価 結果

県計画に基づき平成27年度まで実施。大井手用水の効率的利用のための整備を継続。

#### 【梶掛農山漁村活性化プロジェクト支援交付金事業費(経済対策)(繰越) 項目名 繰030 所 属 主要な施策 農山漁村活性化プロジェクト支援交付金事業費 ページ 37 農林水産部 年度 農村整備課 H25 事業の概要 【問合せ先】基盤整備係 0857-20-3244 会計名 -般会計 【9次総の施策体系】5101 **款** 農林水産業費 【事業の概要】 項農業費

(単位:千円)

**目** 農地費

前年度最終予算額	30, 120
----------	---------

**本年度繰越予算額** 30, 120

十左在沙笠板	20, 120	スの体品
本年度決算額	30, 120	その他則

	区分	決算額
財	国·県支出金	20, 250
源	地方債	0
	その他	0
沢	一般財源	9, 870
	計	30, 120

その他	その他財源の内訳	
分担金	0	
負担金	0	
使用料	0	
手数料	0	
財産収入	0	
寄付金	0	
繰入金	0	
諸収入	0	
その他	0	

当該事業箇所は、明治時代の区画整備のため区画が狭小であり、用排水路は土水路となっている。このため、大型機械の導入が困難で担い手への農地利用集積に支障を来すとともに、利水効率が悪く、草刈り、泥上げ等に多大な労力や経費を費やすなど、生産基盤の整備が熱望されている。

土水路にコンクリート二次製品を布設し、水路整備を実施することにより、維持管理の 省力化や経費縮減、効率的な営農作業が可能となり、農地の利用集積を図る。

梶掛地区農山漁村活性化プロジェクト交付金事業

- 事業年度 平成23年度~平成26年度
- •事業費 115,000,000円
- 負担区分 事業費: 国 5 5 % 県 1 2. 5 % 市 2 5 % 地元 7. 5 % 事務費: 市 7 5 % 地元 2 5 %
- ·事業内容 実施設計、水路整備 L = 6, 085 m

#### 【予算繰越理由】

施工方法について地元との調整が必要になったため。

## 【事業の成果】

- 事 業 費 30, 120千円
- 事業内容 水路工L=1, 055m

#### 【今後の課題・方向性】

地元との協議を継続し、平成26年度の完了を目指す。

評価 結果

平成26年度の完了を目指す。

【水利用調整事業(経済対策)(繰越) 繰031 項目名 所 属 水利用再編促進事業費 ページ 主要な施策 37 農林水産部 農村整備課 年度 H25 事業の概要 【問合せ先】基盤整備係 0857-20-3244 会計名 -般会計 【9次総の施策体系】5101 **款** 農林水産業費 【事業の概要】 項農業費 大口堰農業水利施設保全合理化事業 農地費 ・実施主体 鳥取県 平成25年度 事業年度 • 事業箇所 大口堰 (単位:千円) 国50% 市50% • 負担区分 農業用水等の流量調査、資料作成等 事業内容 前年度最終予算額 8, 500 【予算繰越理由】 地元との調整に期間を要したため。 本年度繰越予算額 8.500 【事業の成果】 8, 190千円 本年度決算額 ・事 業 費 8. 190 その他財源の内訳 流域の流量調査 事業内容 分担金 調査業務 1式 負担金 0 【今後の課題・方向性】 0 使用料 本調査を基に老朽化した水利施設の改修を県の計画に基づき実施。 区分 決算額 0 手数料 国•県支出金 4.095 財産収入 0 源地方債 4,000 寄付金 0 内その他 0 0 繰入金 一般財源 95 諸収入 0 計 8. 190 その他 0

評価 結果

県計画に沿って平成29年度までの期間で事業を実施する。

■農業基盤整備促進事業費(繰越) 項目名 繰032 主要な施策 農業基盤整備促進事業費 年度 H25 会計名 -般会計 款 農林水産業費 項 農業費 農地費

(単位:千円)

前年度最終予算額	21, 967
----------	---------

本年度繰越予算額 4.300

本年度決算額 4,299
--------------

区分	決算額
<sub>財</sub> 国·県支出金	2, 766
源地方債	0
内その他	0
一般財源	1, 533
計	4, 299

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

# 事業の概要

ページ

【問合せ先】基盤整備係 0857-20-3244

【9次総の施策体系】5101

#### 【事業の概要】

農業生産基盤の整備をきめ細かく実施し、わが国の農業の体質を強化することを目的と した国補助事業「農業体質強化基盤整備促進事業」が24年度途中で廃止された。本市が 同事業により実施してきた水路整備等を、同程度の事業内容である「基盤整備促進事業」 に移行することで事業継続する。

37

所 属

農林水産部 農村整備課

この補助事業を通じて、本市は意欲ある農業者が安心して新しい営農に取り組めるよう 農業用用排水施設、暗渠排水の新設変更等の農業生産基盤の整備を行う。老朽化施設の更 ■新、用排水施設の増設等の農業水利施設の整備、暗渠排水等の農地の整備をきめ細かく実 【施し、排水不良や、用水不足に対応するとともに経営規模の拡大や、戦略作物・地域振興 作物の生産を促進し農業所得の向上にも資する。

## 【予算繰越理由】

施工方法の検討に期間を要したため。

## 【事業の成果】

事業費 4.299千円

〈6法地域以外〉負担区分 国50% 県15% 地元20% 市15%

宮谷地区 用排水路整備工事L=250m

猪子地区 区画整理A=0.5ha

## 【今後の課題・方向性】

市内全域の農業施設の老朽化は激しく、一部農業活動に支障が出ている箇所もある。水 【路については農業に必須の水を確保するために必要な施設であり、今後も老朽化箇所の改 【修を継続してゆくことが必要。実施個所を検討しながら、農業基盤の整備により農業生産 活動の安定を図ってゆく。

地元からの要望を受けて今後の実施個所を検討し、農業基盤の整備により農業生産活動の安定を図る。

■農業基盤整備促進事業費(経済対策)(繰越) 項目名 繰033 所 属 名 主要な施策 農業基盤整備促進事業費 ページ 37 農林水産部 年度 農村整備課 H25 事業の概要 【問合せ先】基盤整備係 0857-20-3244 会計名 【9次総の施策体系】5101 -般会計 【事業の概要】 経済対策補正として予算化したもの。 款 農林水産業費 補助事業を通じて、本市は意欲ある農業者が安心して新しい営農に取り組めるよう 項 農業費 農業用用排水施設、暗渠排水の新設変更等の農業生産基盤の整備を行う。 農地費 老朽化施設の更新、用排水施設の増設等の農業水利施設の整備、暗渠排水等の農地の整 備をきめ細かく実施し、排水不良や、用水不足に対応するとともに経営規模の拡大や、戦 略作物・地域振興作物の生産を促進し農業所得の向上にも資する。 (単位:千円) 【予算繰越理由】 施工方法の検討に期間を要したため。 前年度最終予算額 46, 864 【事業の成果】 事業費 43,237千円 〈6法地域〉負担区分 国55% 県15% 地元15% 市15% 本年度繰越予算額 46.864 • 河内地区 用水路整備工事  $L = 3.15 \, \text{m}$ 用排水路整備工事 L=84m • 釜口地区 本年度決算額 43, 237 ・高山地区 用排水路整備工事 L=80m 〈6法地域以外〉負担区分 国50% 県15% 地元20% 市15% 用排水路整備工事 L=250m • 宮谷地区 • 猪子地区 区画整理 A = 0. 5 ha • 玉津地区 用水路樋門 1 基

	区分	決算額
財	国-県支出金	28, 811
源	地方債	0
内	その他	7, 616
派	一般財源	6, 810

計

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	7, 616
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

# 【今後の課題・方向性】 市内全域の農業施設の老朽化は激しく、一部農業活動に支障が出ている箇所もある。水路については農業に必須の水を確保するために必要な施設であり、今後も老朽化箇所の改修を継続してゆくことが必要。実施個所を検討しながら、農業基盤の整備により農業生産活動の安定を図ってゆく。

L = 137 m

用水路整備

評価 結果

43. 237

測量設計を基に平成26年度に工事着手を行う。

• 伏野地区

【補助災害復旧費(繰越) 項目名 繰034 主要な施策 現年発生災害復旧費 年度 H25 会計名 -般会計

(単位:千円)

款 災害復旧費

項 災害復旧費

前年度最終予算額 26, 763

■ 農林水産業施設災害復旧費

本年度繰越予算額 20. 736

本年度決算額 18.612

区分	決算額
」 国·県支出金	16, 317
源地方債	700
内その他	200
一般財源	1, 395
計	18, 612

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	200
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

# 事業の概要

【問合せ先】基盤整備係 0857-20-3244

【9次総の施策体系】5101

#### 【事業の概要】

平成24年6月19日台風4号、平成24年9月18日豪雨により農地・農業用施設が 被害を受けたことに起因。

49

所 属

農林水産部 農村整備課

早期に災害復旧工事に着手し被害を最小限にし、営農活動に支障をきたさないようにす る。

#### 【予算繰越理由】

施工時期、施工方法について地元と調整を行う必要があったため。

ページ

#### 【事業の成果】

農地災害復旧 2箇所

事業費 698, 250円

(国81.7% 市11.8%(起債充当率90%) 地元6.5%)

農業用施設災害復旧 5筒所

事業費 17,412,000円

(国97.6~92.5% 市0~3%(起債充当率90%) 地元2.4~4.5%)

#### 【今後の課題・方向性】

近年の異常気象に伴い災害も増加傾向にある。迅速な対応で営農活動への影響を最小限 にしてゆく必要がある。

評価 結果

早期の復旧工事を行い、営農活動への影響を最小限に留める。

■単独災害復旧費(繰越) 項目名 繰035 所 属 現年発生災害復旧費 ページ 主要な施策 49 農林水産部 農村整備課 年度 H25 事業の概要 【問合せ先】基盤整備係 0857-20-3244 会計名 -般会計 【9次総の施策体系】5101 款 災害復旧費 【事業の概要】 災害復旧費 船木広岡地区農道において地盤崩落による農道施設災害が発生しており、農道の通行に 多大な支障をきたしている。 農林水産業施設災害復旧費 早期の復旧が必要となっている。 (単位:千円) 【予算繰越理由】 施工時期、施工方法について地元と調整を行う必要があったため 前年度最終予算額 6,600 【事業の成果】 測量設計を完了し、平成25年度にて復旧工事を実施した。 本年度繰越予算額 6.600 事業費 6,594千円 【今後の課題・方向性】 本年度決算額 その他財源の内訳 6. 594 復旧後の現場状況を継続して確認してゆく必要がある。 分担金 0 負担金 0 0 使用料 区分 決算額 0 手数料 国•県支出金 0 0 財産収入 源地方債 0 0 寄付金 内その他 0 0 繰入金 一般財源 6, 594 0 諸収入 計 6.594 その他 0

> 評価 結果

被災箇所の早期復旧で営農活動に支障をきたさないようにする。

■道路新設改良県営事業負担金(繰越) 繰036 項目名 所 属 県営事業負担金 ページ 主要な施策 41 都市整備部 都市企画課 年度 H25 事業の概要 【問合せ先】事業調整係 0857-20-3253 会計名 -般会計 【9次総の施策体系】4201 **款** 土木費 【事業の概要】 項 道路橋梁費 便利で快適な交通基盤の整備を行うため、県が実施する市域の県道整備事業に要する経 費の一部を負担することにより、幹線道路の整備を促進し、市内各地や高速道路とのアク **目** 道路新設改良費 セス向上を図る。なお、道路新設改良県営事業に要する市町村負担額は鳥取県が定めてい る。 (単位:千円) 【予算繰越理由】 前年度最終予算額 10, 298 県営事業の遅延による。 本年度繰越予算額 【事業の成果】 7. 733 猪ノ子国安線ほか4路線 本年度決算額 7. 733 その他財源の内訳 【今後の課題・方向性】 平成26年度以降については、市町村負担金を廃止。 分担金 0 負担金 0 0 使用料 区分 決算額 0 手数料 国·県支出金 0 財産収入 源地方債 6,900 寄付金 0 内その他 0 0 繰入金 一般財源 833 諸収入 0 計 7.733 その他 0

評価 結果

平成26年度以降については、市町村負担金を廃止。

【道路新設改良県営事業負担金(経済対策)(繰越) 繰037 項目名 所 属 県営事業負担金 ページ 主要な施策 41 都市整備部 都市企画課 年度 H25 事業の概要 【問合せ先】事業調整係 0857-20-3253 会計名 -般会計 【9次総の施策体系】4201 **款** 土木費 【事業の概要】 項 道路橋梁費 便利で快適な交通基盤の整備を行うため、県が実施する市域の県道整備事業に要する経 費の一部を負担することにより、幹線道路の整備を促進し、市内各地や高速道路とのアク **目** 道路新設改良費 セス向上を図る。なお、道路新設改良県営事業に要する市町村負担額は鳥取県が定めてい る。 (単位:千円) 【予算繰越理由】 前年度最終予算額 1.875 国の緊急経済対策に係る補正予算に呼応するため。 本年度繰越予算額 【事業の成果】 1.875 鳥取河原用瀬線ほか2路線 本年度決算額 その他財源の内訳 【今後の課題・方向性】 1.871 平成26年度以降については、市町村負担金を廃止。 0 分担金 負担金 0 0 使用料 区分 決算額 0 手数料 国·県支出金 0 財産収入 源地方債 1,800 寄付金 0 内その他 0 0 繰入金 一般財源 71 諸収入 0 計 1.871 その他 0 評価

平成26年度以降については、市町村負担金を廃止。

結果

# **■**急傾斜地崩壊対策県営事業負担金(繰越) 項目名 繰038 所 属 ページ 主要な施策 急傾斜地崩壊対策県営事業負担金 41 都市整備部 都市企画課 年度 H25 事業の概要 【問合せ先】事業調整係 0857-20-3253 会計名 -般会計 【9次総の施策体系】4201 **款** 土木費 【事業の概要】 項河川費 災害に強いまちづくりを進めるため、県が実施する急傾斜崩壊対策事業に要する経費の 一部を市負担することにより、急傾斜地崩壊対策事業の促進を図り、災害に強いまちづく **目** 河川総務費 りを推進する。なお、急傾斜地崩壊対策事業に要する市町村負担額については鳥取県が定 めている。 (単位:千円) 【予算繰越理由】 前年度最終予算額 58, 626 県営事業の遅延による。 本年度繰越予算額 【事業成果】 21, 912 鳥取市青谷町田原谷ほか5か所 本年度決算額 21.624 その他財源の内訳 【今後の課題・方向性】 県営事業の着実な事業促進を図るとともに、市町村負担金の廃止・縮小について県と継 分担金 続して協議を行う。 負担金 0 0 使用料 区分 決算額 0 手数料 国-県支出金 0 財産収入 源地方債 20, 300 寄付金 0 内その他 0 0 繰入金 一般財源 1, 324 0 諸収入 計 21, 624 その他 0

評価 結果

## 【急傾斜地崩壊対策県営事業負担金(経済対策)(繰越) 項目名 繰039 所 属 ページ 主要な施策 急傾斜地崩壊対策県営事業負担金 41 都市整備部 年度 都市企画課 H25 事業の概要 【問合せ先】事業調整係 0857-20-3253 会計名 -般会計 【9次総の施策体系】4201 **款** 土木費 【事業の概要】 項河川費 災害に強いまちづくりを進めるため、県が実施する急傾斜崩壊対策事業に要する経費の 一部を市負担することにより、急傾斜地崩壊対策事業の促進を図り、災害に強いまちづく **目**河川総務費 りを推進する。なお、急傾斜地崩壊対策事業に要する市町村負担額については鳥取県が定 めている。 (単位:千円) 【予算繰越理由】 前年度最終予算額 11, 700 国の緊急経済対策に係る補正予算に呼応するため。 【事業成果】 本年度繰越予算額 6.889 鳥取市国府町上地ほか3か所 本年度決算額 その他財源の内訳 【今後の課題・方向性】 5.845 県営事業の着実な事業促進を図るとともに、市町村負担金の廃止・縮小について県と継 分担金 続して協議を行う。 負担金 0 0 使用料 区分 決算額 0 手数料 国·県支出金 0 0 財産収入 源地方債 5,800 寄付金 0 内その他 0 0 繰入金 一般財源 45 0 諸収入 計 5.845 その他 0

評価 結果

▶ 港湾改修県営事業負担金(繰越) 繰040 項目名 所 属 県営事業負担金 ページ 主要な施策 41 都市整備部 都市企画課 年度 H25 事業の概要 【問合せ先】事業調整係 0857-20-3253 会計名 -般会計 【9次総の施策体系】4201 款 土木費 【事業の概要】 項港湾費 物流の国際化を図るため、県が実施する港湾改修事業に要する経費の一部を市が負担す ることにより、重要港湾鳥取港の整備を促進し、物流事業や水産業の振興を図る。なお、 **目** 港湾総務費 港湾改修県営事業に要する市町村負担金は鳥取県が定めている。 (単位:千円) 【予算繰越理由】 県営事業の遅延による。 前年度最終予算額 13, 800 【事業の成果】 鳥取港第3防波堤設置 本年度繰越予算額 6.678 【今後の課題・方向性】 県営事業の着実な事業促進を図るとともに、市町村負担金の廃止・縮小について県と継 本年度決算額 6.677 その他財源の内訳 続して協議を行う。 分担金 負担金 0 0 使用料 区分 決算額 0 手数料 国-県支出金 0 財産収入 源地方債 5, 900 寄付金 0 内その他 0 0 繰入金 一般財源 777 0 諸収入 計 6.677 その他 0

> 評価 結果

都市再生整備策定費(繰越) 項目名 繰041 所 属 ページ 主要な施策 都市計画策定費 41 都市整備部 年度 都市企画課 H25 事業の概要 【問合せ先】都市計画係 0857-20-3272 会計名 -般会計 【9次総の施策体系】4201 **款** 土木費 【事業の概要】 **項** 都市計画費 鳥取市都市計画マスタープランの理念である多極型のコンパクトな都市構造に移行して ┃いくためには、郊外化の抑制と併せて、こうした地域拠点を再生することが重要であり、 **目**都市計画総務費 地域の特性に応じたインセンティブやインフラ整備を行う。 【予算繰越理由】 (単位:千円) 本業務は、学識経験者や住民の代表者により組織された検討委員会を行い、まちづくり 2.980 前年度最終予算額 ▋計画を策定する業務であるが、検討委員会での意見集約に不測の日数を要し、年度内完了 が困難となったため。 本年度繰越予算額 2. 929 【事業の成果】 青谷地区地域生活拠点再生整備検討委員会(全6回)を4回実施し、地域生活拠点再生 本年度決算額 2.880 その他財源の内訳 整備計画(委員会提案)が策定された。この計画を踏まえ、事業の実施計画となる都市再 生整備計画(青谷地区)の策定を行った。

•		
	分担金	0
	負担金	0
	使用料	0
決算額	手数料	0
0	財産収入	0
1, 400	寄付金	0
0	繰入金	0
1, 480	諸収入	0
2, 880	その他	0

区 分

国-県支出金

一般財源 計

源地方債内その他

# 【今後の課題・方向性】

第9次鳥取市総合計画のリーディングプロジェクトに中山間地域の暮らしを支えるプロジェクトとして「日常生活を支える地域生活拠点の再生」が位置づけられており、平成26年度から気高地区に着手する。

評価 結果

多極型コンパクトシティ実現のためにも地域生活拠点の再生は最重要事項であり、各地域で積極的な事業展開を図っていく。

【県営街路事業負担金(繰越) 繰042 項目名 所 属 県営事業負担金 ページ 主要な施策 41 都市整備部 都市企画課 年度 H25 事業の概要 【問合せ先】事業調整係 0857-20-3253 会計名 一般会計 【9次総の施策体系】4201 **款** 土木費 【事業の概要】 項都市計画費 県が実施する市域内の県営街路事業に要する経費の一部を負担することにより、幹線道 ■路の整備を促進し、交通渋滞の緩和、利便性の確保を図る。なお、県営街路事業に要する **目** 街路事業費 市町村負担金は鳥取県が定めている。 (単位:千円) 【予算繰越理由】 県営事業の遅延による。 前年度最終予算額 60, 381 【事業の成果】 滝山桜谷線ほか5路線 本年度繰越予算額 23.606 【今後の課題・方向性】 県営事業の着実な事業促進を図るとともに、市町村負担金の廃止・縮小について県と継 本年度決算額 23, 593 その他財源の内訳 続して協議を行う。 分担金 負担金 0 0 使用料 区分 決算額 0 手数料 国-県支出金 0 財産収入 源地方債 21, 200 寄付金 0 内その他 0 0 繰入金 一般財源 2, 393 0 諸収入 計 23.593 その他 0

> 評価 結果

# 【県営街路事業負担金(経済対策)(繰越) 項目名 繰043 所 属 県営事業負担金 ページ 主要な施策 41 都市整備部 都市企画課 年度 H25 事業の概要 【問合せ先】事業調整係 0857-20-3253 会計名 一般会計 【9次総の施策体系】4201 **款** 土木費 【事業の概要】 項都市計画費 県が実施する市域内の県営街路事業に要する経費の一部を負担することにより、幹線道 ■路の整備を促進し、交通渋滞の緩和、利便性の確保を図る。なお、県営街路事業に要する **目** 街路事業費 市町村負担金は鳥取県が定めている。 (単位:千円) 【予算繰越理由】 国の緊急経済対策に係る補正予算に呼応するため。 前年度最終予算額 21,060 【事業の成果】 立川甑線ほか1路線 本年度繰越予算額 21.060 【今後の課題・方向性】 県営事業の着実な事業促進を図るとともに、市町村負担金の廃止・縮小について県と継 本年度決算額 21.058 その他財源の内訳 続して協議を行う。 分担金 負担金 0 0 使用料 区分 決算額 0 手数料 国-県支出金 0 財産収入 源地方債 21,000 寄付金 0 内その他 0 0 繰入金 一般財源 58 0 諸収入 計 21.058 その他 0

評価 結果

▋鳥取駅周辺再生整備事業費(繰越) 項目名 繰044 所 属 鳥取駅周辺再生整備事業費 ページ 主要な施策 41 都市整備部 中心市街地整備課 年度 H25 事業の概要 【問合せ先】中心市街地整備課 0857-20-3278 会計名 -般会計 【9次総の施策体系】4203 **款** 土木費 【事業の概要】 項 都市計画費 本市がめざす「多極型のコンパクトなまちづくり」の実現に向け、鳥取駅周辺の再生を 図るため、「鳥取駅周辺再生基本計画」に位置付ける鳥取駅周辺での歩行環境整備を行 目 都市計画総務費 う。 (単位:千円) 【予算繰越理由】 関係機関との協議に日数を要したため。 前年度最終予算額 22. 171 【事業の成果】 市道扇幸町 1 号線測量設計調査業務。 本年度繰越予算額 20.550 【今後の課題・方向性】 引き続き「鳥取駅周辺再生基本計画」の推進のため、市道扇幸町1号線整備工事を行 本年度決算額 15, 813 その他財源の内訳 う。 0 分担金 負担金 0 0 使用料 区分 決算額 0 手数料 国·県支出金 7.906 0 財産収入 源地方債 7, 400 寄付金 0 内その他 0 0 繰入金

一般財源

計

507

15.813

諸収入

その他

0

0

評価 鳥取駅周辺再生基本計画では、様々な事業を計画している。平成25年度は、駅北側の歩行者動線の拡充を検討するため、市道 結果 駅前太平線完成後の交通量調査及び分析を行った。今後も、基本計画掲載事業を実施し、中心市街地の活性化を図る。

| 殿ダム対策費(繰越) 項目名 繰045 所 属 殿ダム対策費 ページ 主要な施策 40 都市整備部 都市環境課 年度 H25 事業の概要 【問合せ先】管理・都市緑化係 0857-20-3252 会計名 -般会計 【9次総の施策体系】4201 **款** 土木費 【事業の概要】 項 土木管理費 ダム事業を円滑に推進するため、殿ダム周辺集落等の生活再建・活性化対策を行ってき ┃た。平成24・25年度で、記念広場・中央広場などのダム周辺の整備を行い、更なる地 **1** 土木総務費 域活性化を図る。 (単位:千円) 【予算繰越理由】 関係機関との協議に日数を要したため。 前年度最終予算額 206, 808 【事業の成果】 一殿ダム親水広場整備工事 31,434千円 本年度繰越予算額 34.996 【今後の課題・方向性】 本年度決算額 31, 434 殿ダム水源地域ビジョンの基本方針に基づいた施策を継続的に展開するとともに、市民 その他財源の内訳 ■の憩いの場として活用を図りながら、地域振興や交流の促進につなげるよう進めていく必 分担金 要がある。 負担金 0 0 使用料 区分 決算額 0 手数料 国·県支出金 0 0 財産収入 源地方債 0 0 寄付金 内その他 0 0 繰入金 一般財源 31, 434 0 諸収入

計

その他

0

31, 434

**評価** 殿ダム事業の完成により、洪水調節や水力発電など市民の安全で安心な暮らしを守るとともに、市民の憩いの場としての活用を **結果** 図りながら地域振興や交流の促進をさらに進める必要がある。

■普通河川改良事業費(繰越) 繰046 項目名 所 属 普通河川改良事業費 ページ 主要な施策 41 都市整備部 都市環境課 年度 H25 事業の概要 【問合せ先】河川係 0857-20-3256 会計名 一般会計 【9次総の施策体系】4102 **款** 土木費 【事業の概要】 項河川費 河川災害を未然に防止するため、治水・環境衛生上重要な法定外水路の改修・改良を行 ┃い、流域の浸水被害の軽減、環境改善を図る。 **目** 河川総務費 【予算繰越理由】 (単位:千円) 関連事業の遅延により日数を要したため。 前年度最終予算額 80, 321 【事業の成果】 内海川改良工事等 41,556千円 本年度繰越予算額 事務費等 52.000 4 4 千円 【今後の課題・方向性】 河川災害等の防止を図るため、計画的な工事実施を図る。 本年度決算額 41.600 その他財源の内訳 分担金 0 負担金 0 0 使用料 区分 決算額 0 手数料 国•県支出金 財産収入 0 源 地方債 37, 500 寄付金 0 内その他 0 0 繰入金 一般財源 4, 100 諸収入 0 計 41,600 その他 0

> 評価 結果

流域の浸水被害の軽減、環境改善を図るうえで重要な業務である。

項 目 名 治水対策事業費(繰越) 繰047 所 属 ページ 主要な施策 治水対策事業費 41 都市整備部 都市環境課 年度 H25 事業の概要 【問合せ先】河川係 0857-20-3226 会計名 一般会計 【9次総の施策体系】4102 款 土木費 【事業の概要】 項河川費 浸水被害箇所への計画的な内水排除対策工事等実施し、治水対策事業の促進を図る。 洪水時、宅地の浸水被害に緊急対応するため、既設ポンプ場の点検・修理を行う。 **目** 河川総務費 【予算繰越理由】 (単位:千円) 関係機関との協議に日数を要したため。 前年度最終予算額 104, 450 【事業の成果】 枝川改良工事等 27, 687千円 本年度繰越予算額 用地取得(4件) 15.001千円 63.950 物件移転補償(1件) 66千円 事務費等 146千円 本年度決算額 42.900 その他財源の内訳 【今後の課題・方向性】 分担金 内水処理対策による浸水防止を行い、住民の安全の確保を図るため、継続して事業に取 負担金 0 り組む必要がある。 0 使用料 区分 決算額 0 手数料 財産収入 国•県支出金 0 源 地方債 40,800 寄付金 0 内その他 0 0 繰入金 一般財源 2, 100 0 諸収入 計 42.900 その他 0

内水処理対策により浸水被害防止を行い、住民の安全確保を図る。

評価

結果

項 目 名 工業団地整備関係事業費(繰越) 繰048 所 属 工業団地整備関係事業費 ページ 主要な施策 41 都市整備部 都市環境課 年度 H25 事業の概要 【問合せ先】河川係 0857-20-3256 会計名 一般会計 【9次総の施策体系】4102 **款** 土木費 【事業の概要】 項河川費 河原インター山手工業団地整備に伴い、その用地内から発生する雨水を処理するための バイパス排水路を事前に整備する。 **目** 河川総務費 【予算繰越理由】 (単位:千円) 関係機関との協議に日数を要したため。 前年度最終予算額 228, 893 【事業の成果】 三谷川・柏谷川流域排水路整備工事等 152.115千円 事務費等 本年度繰越予算額 152, 195 65千円 【今後の課題・方向性】 本年度決算額 152, 180 事業の早期完成を図る。 その他財源の内訳 分担金 0 負担金 0 使用料 0 区分 決算額 0 手数料 国•県支出金 財産収入 0 源地方債 144, 600 寄付金 0 内その他 0 0 繰入金 一般財源 7, 580 諸収入 0 計 152, 180 その他 0

> 評価 結果

事業の早期完成を図る。

【公園整備事業費(経済対策)(繰越) 繰049 項目名 所 属 公園整備費 ページ 主要な施策 42 都市整備部 都市環境課 年度 H25 事業の概要 【問合せ先】公園係 0857-20-3273 会計名 一般会計 【9次総の施策体系】4102 **款** 土木費 【事業の概要】 項都市計画費 社会資本整備総合交付金を活用し、市内地域都市公園整備を進める。 **目**都市公園整備費 【予算繰越理由】 国の緊急経済対策に係る補正予算に呼応するため。 (単位:千円) 【事業の成果】 前年度最終予算額 122, 500 千代水公園整備工事等 93,682千円 公園長寿命化計画策定業務 27,215千円 事務費等 本年度繰越予算額 122, 500 418千円 【今後の課題・方向性】 本年度決算額 121. 315 施設の適切な管理が必要。 その他財源の内訳 分担金 0 負担金 0 使用料 0 区分 決算額 0 手数料 国-県支出金 60, 449 財産収入 0 源 地方債 47, 200 寄付金 0 内その他 0 0 繰入金 一般財源 13, 666 諸収入 0 計 121, 315 その他 0

> 評価 結果

継続して事業を行い、適正な管理を行う。

■湖山池公園整備事業費(繰越) 繰050 項目名 所 属 湖山池公園整備事業費 ページ 主要な施策 42 都市整備部 都市環境課 年度 H25 事業の概要 【問合せ先】公園係 0857-20-3273、管理・都市緑化係 0857-20-3252 会計名 一般会計 【9次総の施策体系】4102 **款** 土木費 【事業の概要】 項都市計画費 社会資本整備総合交付金(公園事業)を活用し、湖山池公園整備を進める。 **目**都市公園整備費 【予算繰越理由】 国の緊急経済対策に係る補正予算への呼応および関係機関との協議に日数を要したた (単位:千円) め。 前年度最終予算額 303, 456 【事業の成果】 湖山池公園お花畑ゾーン整備工事等 128,638千円 事務費等 本年度繰越予算額 842千円 130, 800 【今後の課題・方向性】 引き続き湖山池公園の整備を推進する。 本年度決算額 129, 480 その他財源の内訳 分担金 0 負担金 0 使用料 0 区分 決算額 0 手数料 国•県支出金 64.319 0 財産収入 源地方債 61,900 寄付金 0 内その他 0 0 繰入金 一般財源 3, 261 0 諸収入 計 129, 480 その他 0

> 評価 結果

継続して湖山池公園の整備を行い、適正な管理を行う。

■湖山池公園整備事業費(経済対策)(繰越) 項目名 繰051 所 属 湖山池公園整備事業費 ページ 主要な施策 42 都市整備部 都市環境課 年度 H25 事業の概要 【問合せ先】公園係 0857-20-3273、管理・都市緑化係 0857-20-3252 会計名 -般会計 【9次総の施策体系】4102 **款** 土木費 【事業の概要】 項都市計画費 社会資本整備総合交付金(公園事業)を活用し、湖山池公園整備を進める。 **目**都市公園整備費 【予算繰越理由】 国の緊急経済対策に係る補正予算への呼応および関係機関との協議に日数を要したた (単位:千円) め。 前年度最終予算額 76,000 【事業の成果】 湖山池公園子供の遊びゾーン整備工事等 50,549千円 湖山池公園金沢休養ゾーン再整備測量設計業務 11.131千円 本年度繰越予算額 76.000 事務費等 820千円 【今後の課題・方向性】 本年度決算額 62, 500 その他財源の内訳 引き続き湖山池公園の整備を推進する。 0 分担金 負担金 0 0 使用料 区分 決算額 0 手数料 国-県支出金 30, 840 0 財産収入 源地方債 31,600 寄付金 0 内その他 0 0 繰入金 一般財源 60 諸収入 0 計 62.500 その他 0

> 評価 結果

継続して湖山池公園の整備を行い、適正な管理を行う。

地方道路整備交付金事業費(繰越) 項目名 繰052 所 属 ページ 主要な施策 地方道路整備交付金事業費 41 都市整備部 道路課 年度 H25 事業の概要 【問合せ先】維持第1係、維持第2係、新設改良係 0857-20-3262、20-3263、20-3254 会計名 -般会計 【9次総の施策体系】4201 **款** 土木費 【事業の概要】 **項** 道路橋梁費 日常生活の基盤となる市道の新設、拡幅改良事業により、生活道路の整備、危険箇所の 解消、交通の安全確保を図り、また、山陰道整備に伴う市道整備も推進し、市民生活の利 **目** 道路新設改良費 便性の向上を図る。また、鳥取駅周辺整備は、人が集う魅力的な環境に再生し、駅前周辺 はもとより街なか再生の起爆剤となることを目指す。 (単位:千円) 【予算繰越理由】 前年度最終予算額 859. 172 関係者との協議に日数を要したため。 【事業の成果】 本年度繰越予算額 497. 408 (1) 社会資本整備総合交付金事業(交付率55%)駅前太平線ほか7路線 (2) 社会資本整備総合交付金事業(交付率45%) 駅前太平線高質空間整備 本年度決算額 455, 622 (3) 道整備交付金事業(交付率50%)美歎線 【今後の課題・方向性】

区分	決算額
」 国·県支出金	324, 762
源地方債	123, 200
内その他	0
	7, 660
計	455, 622

	その他財源の内訳	
	分担金	0
	負担金	0
_	使用料	0
	手数料	0
	財産収入	0
	寄付金	0
	繰入金	0
	諸収入	0
	その他	0

交付金等を活用し道路整備を推進する。

**評価** 維持管理を行う市道の延長および道路施設の増加等に加え、市民の意見を聴く窓口の拡充により、市民ニーズは多様化し、地区 要望の件数は年々増加している。社会資本整備総合交付金を効率的に活用するとともに、道路の状態の的確な把握に努め、危険が 予想される箇所などの優先順位付けにより年次計画的に実施していく。

## ■地方道路整備交付金事業費(経済対策)(繰越) 項目名 繰053 名 所 属 地方道路整備交付金事業費 ページ 主要な施策 41 都市整備部 道路課 年度 H25 事業の概要 【問合せ先】維持第1係、維持第2係、新設改良係 0857-20-3262、20-3263、20-3254 会計名 -般会計 【9次総の施策体系】4201 **款** 土木費 【事業の概要】 道路橋梁費 項 国の緊急経済対策を活用し、日常生活の基盤となる市道の新設、拡幅改良事業により、 **目** 道路新設改良費 生活道路の整備、危険箇所の解消、交通の安全確保を図る。 【予算繰越理由】 (単位:千円) 国の緊急経済対策に係る補正予算に呼応するため。 前年度最終予算額 538, 000 【事業の成果】 (1) 社会資本整備総合交付金事業(交付率55%)上原猪子線ほか3路線、点検業務 (2) 社会資本整備総合交付金事業(交付率50%) 扇幸町1号線ほか1路線 本年度繰越予算額 538.000 【今後の課題・方向性】 本年度決算額 490, 653 国の緊急経済対策(交付金等)を活用し道路整備を推進する。 その他財源の内訳 分担金 0 負担金 0 0 使用料 区分 決算額 0 手数料 国·県支出金 0 251, 586 財産収入 源 地方債 235.900 0 寄付金 内その他 0 0 繰入金 一般財源 3, 167 0 諸収入

計

490, 653

その他

0

**評価** 維持管理を行う市道の延長および道路施設の増加等に加え、市民の意見を聴く窓口の拡充により、市民ニーズは多様化し、地区 要望の件数は年々増加している。国の緊急経済対策(社会資本整備総合交付金)を効率的に活用するとともに、道路の状態の的確 な把握に努め、危険が予想される箇所などの優先順位付けにより年次計画的に実施していく。

【橋梁維持補修費(繰越) 項目名 繰054 所 属 ページ 主要な施策 橋梁維持補修費 41 都市整備部 道路課 年度 H25 事業の概要 【問合せ先】維持第1係、維持第2係 0857-20-3262、20-3263 会計名 -般会計 【9次総の施策体系】4201 **款** 土木費 【事業の概要】 道路橋梁費 橋梁の損傷状況や老朽度合いに応じ策定された「鳥取市道路施設修繕計画」をもとに、 **目** 橋梁維持費 ┃国の交付金等を活用し修繕を行い、施設の延命化と費用の平準化を図る。適切な状態で維 持・管理することにより、通過交通及び通行者の安全を確保する。 (単位:千円) 【予算繰越理由】 関係者との協議に日数を要したため。 前年度最終予算額 101.746 【事業の成果】 社会資本整備総合交付金(交付金事業)を活用し、橋梁の長寿命化計画を策定。 本年度繰越予算額 43. 987 【今後の課題・方向性】 本年度決算額 43. 534 架橋から年数が経過している橋梁の中には、橋梁の架け替えに多額の経費が必要となる ▶ため、危険度調査の結果を基に計画的に補修工事を行うことで施設の延命化を図り、費用 【の平準化を図るとともに大規模な改修が必要なものについては交付金制度を活用して当市

の負担を抑えていくことが必要である。

区分	決算額
<sub>財</sub> 国·県支出金	43, 534
源地方債	0
内その他	0
一般財源	0
計	43, 534

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

平成18年度に調査を行い、設置から年数が経ち、老朽化、主要構造部の傷みが発生している等、早急に対応や詳細調査の必要 評価 があることが確認されている。所管する橋梁数が多いため、一時に対応することは困難であることから、延命化措置が可能なもの は延命化を図るといった対応をとっていく。可能な限り事業費の平準化を図るべく計画的に実施していく。

【橋梁維持補修費(経済対策)(繰越) 項目名 繰055 所 属 ページ 主要な施策 橋梁維持補修費 41 都市整備部 道路課 年度 H25 事業の概要 【問合せ先】維持第1係、維持第2係 0857-20-3262、20-3263 会計名 -般会計 【9次総の施策体系】4201 **款** 土木費 【事業の概要】 道路橋梁費 橋梁の損傷状況や老朽度合いに応じ策定された「鳥取市道路施設修繕計画」をもとに、 **目** 橋梁維持費 |国の交付金等を活用し修繕を行い、施設の延命化と費用の平準化を図る。適切な状態で維 持・管理することにより、通過交通及び通行者の安全を確保する。 (単位:千円) 【予算繰越理由】 国の緊急経済対策に係る補正予算に呼応するため。 前年度最終予算額 12,000 【事業の成果】 国の緊急経済対策(社会資本整備総合交付金)を活用し、橋梁の点検を実施。 本年度繰越予算額 12.000 【今後の課題・方向性】 本年度決算額 8.654 架橋から年数が経過している橋梁の中には、橋梁の架け替えに多額の経費が必要となる ため、危険度調査の結果を基に計画的に補修工事を行うことで施設の延命化を図り、費用 【の平準化を図るとともに大規模な改修が必要なものについては交付金制度を活用して当市 の負担を抑えていくことが必要である。

区分	決算額
」 国·県支出金	4, 760
源地方債	0
内その他	0
一般財源	3, 894
計	8, 654

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

【街路交付金事業費(繰越) 項目名 繰056 所 属 街路事業費 ページ 主要な施策 41 都市整備部 道路課 年度 H25 事業の概要 【問合せ先】新設改良係 0857-20-3254 会計名 一般会計 【9次総の施策体系】4201 **款** 土木費 【事業の概要】 項都市計画費 街路を早急に整備することにより、緊急車両の円滑な進入、緊急時の災害防止、通学の 交通安全確保、生活環境の向上等の基礎整備の改善を図る。 **目** 街路事業費 【予算繰越理由】 (単位:千円) 用地交渉が難航したため。 前年度最終予算額 41,000 【事業の成果】 雲山吉成線 事業延長 L=825m 本年度繰越予算額 7. 445 【今後の課題・方向性】 引き続き国の交付金を活用し計画的に事業を実施する必要がある。 本年度決算額 7. 445 その他財源の内訳 分担金 負担金 0 0 使用料 区分 決算額 0 手数料 財国・県支出金 4.095 財産収入 0 源地方債 3, 200 寄付金 0 内その他 0 0 繰入金 一般財源 150 諸収入 0 7.445 計 その他 0

> 評価 結果

社会資本総合整備の整備計画の再編はあったが、継続して実施し事業完了を図る。

【補助災害復旧費(繰越) 繰057 項目名 所 属 現年発生災害復旧費 ページ 主要な施策 49 都市整備部 道路課 年度 H25 事業の概要 【問合せ先】維持第1係、維持第2係、新設改良係 0857-20-3262、20-3263、20-3254 会計名 -般会計 【9次総の施策体系】4201 款 災害復旧費 【事業の概要】 項 災害復旧費 平成24年9月18日の豪雨により被災した市道を公共土木災害復旧事業により復旧す る。早期の復旧により速やかな交通開放を行う。 目 □公共土木災害復旧費 【予算繰越理由】 (単位:千円) 関係者との協議に日数を要したため。 前年度最終予算額 4, 500 【事業の成果】 市道岩倉開拓線 2,895千円 本年度繰越予算額 2.895 【今後の課題・方向性】 補助金を活用し公共土木災害復旧を行う。 本年度決算額 2.895 その他財源の内訳 分担金 負担金 0 0 使用料 区分 決算額 0 手数料 国-県支出金 1.845 財産収入 0 源地方債 900 寄付金 0 内その他 0 0 繰入金 一般財源 150 諸収入 0 計 2.895 その他 0

> 評価 結果

被災した箇所の速やかな復旧を行い、住民の安全性及び利便性の向上を図る。

■賀露団地ストック総合改善事業工事費(経済対策)(繰越) 項目名 繰058 所 属 ページ 主要な施策 ストック総合改善事業費 42 都市整備部 年度 建築住宅課 H25 事業の概要 【問合せ先】住宅建設係 0857-20-3294 会計名 【9次総の施策体系】4201 -般会計 【事業の概要】 賀露団地R棟の老朽化に伴いストック改善を行い、高齢者などの安全や利便にも配慮し **款** 土木費 た住宅にリフォームする。 項 住宅費 平成20年度 日 公営住宅建設費 R 1 棟改善工事実施設計 平成21年度 R 1 棟 (中層耐火 4 階建 1 5 戸) 改善工事 (単位:千円) R 2 棟改善工事実施設計 平成22年度 前年度最終予算額 211, 210 R 2 棟 (中層耐火 4 階建 1 6 戸) 改善工事 R3棟改善工事実施設計 平成23年度 本年度繰越予算額 211, 210 R3棟(中層耐火4階建16戸)改善工事 R 5 棟改善工事実施設計 本年度決算額 平成24年度 194, 184 その他財源の内訳 R5棟(中層耐火4階建16戸)改善工事 分担金 R 6 棟改善工事実施設計 平成25年度(平成24年度から平成25年度へ繰越) 負担金 0 R 6 棟 (中層耐火 4 階建 1 2 戸) 改善工事 0 使用料 【予算繰越理由】 区分 決算額 国の緊急経済対策に係る補正予算に呼応するため。 手数料 国-県支出金 0 77. 200 財産収入 【事業の成果】 源 地方債 116, 900 寄付金 0 居住環境の改善を図るとともに、新規入居者への公営住宅の供給量を増やした。 内その他 0 0 繰入金 【今後の課題・方向性】 一般財源 84 0 諸収入 平成25年度にR棟全体の改善事業完了。 194, 184 計 その他

> 評価 結果

平成25年度で事業完了。

#### 【稲葉山小学校校舎耐震補強事業費(繰越) 項目名 繰059 名 所 属 ■稲葉山小学校校舎耐震補強事業費 ページ 主要な施策 44 教育委員会事務局 年度 教育総務課 H25 事業の概要 【問合せ先】学校施設係 0857-20-3353 会計名 -般会計 【9次総の施策体系】1102 款 教育費 【事業の概要】 項 小学校費 稲葉山小学校の校舎のうち、昭和46、48、50年に建設の校舎4棟について、耐震 学校建設費 補強工事を行った。 【予算繰越理由】 (単位:千円) 国の補正予算への対応や有利な財源活用が図られるため、予算を前倒し計上した。 前年度最終予算額 80. 925 【事業の成果】 地震発生時における児童・教職員の安全を確保するとともに、非常時における避難場所 としての機能を果たすことができる。 本年度繰越予算額 75. 113 平成25年度 59,224千円 校舎耐震補強工事 【今後の課題・方向性】 本年度決算額 59. 224 その他財源の内訳 平成25年度で改修完了。 分担金 0 負担金 0 0 使用料 区分 決算額 0 手数料 財国・県支出金 25, 743 0 財産収入 源地方債 33, 400 寄付金 0 内その他 0 0 繰入金 一般財源 81 0 諸収入 計 59. 224 その他 0

評価 結果

平成25年度で改修完了。

### ▋明徳小学校大規模改造事業費(経済対策)(繰越) 項目名 繰060 名 所 属 明徳小学校校舎耐震補強事業費 ページ 主要な施策 44 教育委員会事務局 年度 教育総務課 H25 事業の概要 【問合せ先】学校施設係 0857-20-3353 会計名 -般会計 【9次総の施策体系】1102 款 教育費 【事業の概要】 項 小学校費 明徳小学校の校舎のうち、昭和52、53年に建設の校舎2棟について、耐震補強、外 **目** 学校建設費 壁改修、屋上防水、床改修工事を行った。 【予算繰越理由】 (単位:千円) 国の補正予算への対応や有利な財源活用が図られるため、予算を前倒し計上した。 前年度最終予算額 109.599 【事業の成果】 地震発生時における児童・教職員の安全を確保するとともに、非常時における避難場所 としての機能を果たすことができる。 本年度繰越予算額 109.599 平成25年度 109.537千円 校舎耐震補強等工事 【今後の課題・方向性】 本年度決算額 109.537 その他財源の内訳 平成25年度で改修完了。 分担金 0 負担金 0 0 使用料 区分 決算額 0 手数料 国•県支出金 29.825 0 財産収入 源地方債 79, 700 寄付金 0 内その他 0 0 繰入金 一般財源 12 0 諸収入 計 109.537 その他 0

評価 結果

平成25年度で改修完了。

#### ▋美和小学校校舎耐震補強事業費(経済対策)(繰越) 項目名 繰061 名 所 属 ページ 主要な施策 美和小学校校舎耐震補強事業費 44 教育委員会事務局 年度 教育総務課 H25 事業の概要 【問合せ先】学校施設係 0857-20-3353 会計名 -般会計 【9次総の施策体系】1102 款 教育費 【事業の概要】 項 小学校費 美和小学校の校舎のうち、昭和42年に建設の校舎1棟について、耐震補強工事を行っ 学校建設費 た。 【予算繰越理由】 (単位:千円) 国の補正予算への対応や有利な財源活用が図られるため、予算を前倒し計上した。 前年度最終予算額 119, 809 【事業の成果】 地震発生時における児童・教職員の安全を確保するとともに、非常時における避難場所 としての機能を果たすことができる。 本年度繰越予算額 119.809 平成25年度 93.143千円 校舎耐震補強工事 【今後の課題・方向性】 本年度決算額 93. 143 その他財源の内訳 平成25年度で改修完了。 分担金 0 負担金 0 0 使用料 区分 決算額 0 手数料 財国・県支出金 47, 985 0 財産収入 源地方債 42, 500 寄付金 0 内その他 0 0 繰入金 一般財源 2, 658 0 諸収入 計 93. 143 その他 0

評価 結果

平成25年度で改修完了。

## ■東中学校校舎耐震補強事業費(経済対策)(繰越) 項目名 繰062 名 所 属 ページ 主要な施策 東中学校校舎耐震補強事業費 45 教育委員会事務局 年度 教育総務課 H25 事業の概要 【問合せ先】学校施設係 0857-20-3353 会計名 -般会計 【9次総の施策体系】1102 款 教育費 【事業の概要】 項 中学校費 東中学校の校舎のうち、昭和55、56年に建設の校舎3棟について、耐震補強工事を 学校建設費 平成25~26年度に予定している。 【予算繰越理由】 (単位:千円) 国の補正予算への対応や有利な財源活用が図られるため、予算を前倒し計上した。 前年度最終予算額 278, 728 【事業の成果】 地震発生時における生徒・教職員の安全を確保するとともに、非常時における避難場所 としての機能を果たすことができる。 本年度繰越予算額 278, 728 105.736千円 校舎耐震補強等工事 平成25年度 本年度決算額 105, 736 【今後の課題・方向性】 その他財源の内訳 平成25~26年度工事実施を予定。 分担金 0 負担金 0 0 使用料 区分 決算額 0 手数料 国-県支出金 42.699 0 財産収入 源地方債 62,800 寄付金 0 内その他 0 0 繰入金 一般財源 237 0 諸収入

105, 736

その他

0

計

【体育館耐震改修等事業費(経済対策)(繰越) 項目名 繰063 所 属 主要な施策 地区体育館整備費 ページ 49 教育委員会事務局 年度 体育課 H25 事業の概要 【問合せ先】 体育施設係 0857-20-3373 会計名 -般会計 【9次総の施策体系】3103 款 教育費 【事業の概要】 項 保健体育費 災害時において市民の生命・財産を守ることは行政の責務であり、特に避難所として指 **『定している公共施設の耐震化が急がれることが、東日本大震災により、改めて浮き彫りに 目** 体育施設費 なった。鳥取市有建築物耐震診断計画の見直しにより、市有建築物の耐震診断を早急に **【行っているところであるが、その結果に応じて耐震化を推進するための補強計画・実施計** (単位:千円) 画を行った。 「事業の内容〕 前年度最終予算額 5. 682 海洋の家体育館 設計委託料 3,465千円 評定手数料 150千円 本年度繰越予算額 5. 682 【予算繰越理由】 本年度決算額 国の経済対策に対応するため、予算を前倒し計上したため。 3.615 その他財源の内訳 分担金 【事業の成果】 負担金 災害時に市民の安全・安心を確保するため、耐震診断結果により、耐震基準を満たして ┃いないことが明らかになった地区体育館の耐震化を図り、災害に強いまちづくりを推進す 0 使用料 る。 区分 決算額 0 手数料 【今後の課題・方向性】 国•県支出金 1. 155 財産収入 耐震診断結果により緊急度を考慮し、地区体育館整備事業により、随時適切に整備して 源 地方債 2, 300 寄付金 0 いく。 内その他 0 0 繰入金 一般財源 0 160 諸収入 計 3.615 その他 0

> 評価 結果

耐震診断結果により緊急度を考慮し、地区体育館整備事業により、随時適切に整備していく。

【鳥取市弓道場整備事業費(繰越) 項目名 繰064 所 属 ページ 主要な施策 鳥取市弓道場整備事業費 48 教育委員会事務局 年度 体育課 H25 事業の概要 【問合せ先】体育施設係 0857-20-3373 会計名 -般会計 【9次総の施策体系】3103 款 教育費 【事業の概要】 項 保健体育費 平成20年9月より開催された「鳥取市弓道場建設検討委員会」の提言を受け、平成25年 **目** 体育施設費 度供用開始を目指して新弓道場を整備した。 [新弓道場概要] 管理棟(平屋建て、近的的場(10人立)、巻ワラ道場、事務室等) 観覧席(190席、車椅子用3席) (単位:千円) 遠的射場(6人立) 防矢ネット 前年度最終予算額 332, 394 外構(駐車場 69台、うち車椅子利用者用2台) 【予算繰越理由】 本年度繰越予算額 97. 703 工事施工方法の検討に日数を要したため。 本年度決算額 96. 123 【事業の成果】 その他財源の内訳 新弓道場の整備により中国大会レベルの大会等が開催されるようになり、地域の活性化 分担金 |及び市民の満足度が高まるほか、弓道人口の増加と競技力向上の相乗効果が見込まれる。 負担金 【今後の課題・方向性】 0 使用料 中国大会レベルの大会を誘致する。 区分 決算額 0 手数料 国·県支出金 0 財産収入 源地方債 84, 400 寄付金 0 内その他 0 0 繰入金 一般財源 11, 723 0 諸収入 計 96. 123 その他 0

> 評価 結果

大会を誘致し、交流人口の拡大と集客による経済効果を図る。